

静岡民医連 薬剤師卒後研修計画の紹介

静岡民医連とは：

民医連の正式名称は「民主医療機関連合会」といい、全国的な組織です。その特徴を表す文書として「綱領」があります。

その特徴（綱領の大要）は以下の通りです。

患者さんの立場にたち、親切で良い医療を全ての職種力を合わせてすすめます。医療に働く労働者の生活と権利を守り、職場の運営を民主的に行い、みんなの力が生かされるように努めます。

患者さんの為の医療を進めるための障害となるような社会制度や政治に対して地域住民や患者さんと一緒に改善のための運動に取り組みます。

命を守る医療従事者として、戦争政策に反対し平和と民主主義の運動に取り組みます。

地域の健康づくりや医療を良くする医療改善運動を行う組織として、患者さん・地域住民の方々と友の会（共同組織）をつくっています。

経営活動も、経営幹部だけでなく、全役職員や共同組織の創意工夫によって行います。

静岡民医連に参加する医療機関は：

(医) 静岡健生会 三島共立病院(84床)(三島市) 院内薬局 薬剤師3人

静岡田町診療所(静岡市葵区)

浜松佐藤町診療所(浜松市中区)

他 訪問看護ステーション5カ所等

浜北医療生協 生協きたはま診療所(浜松市浜北区)

他 訪問看護ステーション1カ所

(有) 静岡健康企画 ことぶき薬局(三島市) 薬剤師8人

たまち薬局(静岡市葵区) 薬剤師2人

ひまわり薬局(浜松市中区) 薬剤師2人

みかん薬局(浜松市浜北区) 薬剤師1人

以上、静岡民医連としての薬剤師は計16人です。研修は全体の集団で行っています。

卒後研修の実際

5年間で初期研修期間とし総合的な薬剤師（ケアマネ取得も含め）を目指します

1年目：保険薬局、病院薬局にて、主としてそれぞれの実務習得に努める。

2年目：保険薬局の場合：診療所対応薬局・病院対応薬局の薬局間研修3ヶ月間

病院薬局の場合：病院対応薬局への研修3ヶ月間

学会発表を始める（1年に1演題を目標）

3～4年目：保険薬局の場合：研修協力病院にて6ヶ月間の研修

学会活動(発表)

・2006年度

<全国学会>

医療薬学会 9月

「降圧薬使用実態と処方医の選択基準についての一考察」

日本薬学会 07年3月

「高齢者の腎機能調査と処方解析」

日本薬剤師会学術大会 10月

「処方箋様式変更に伴う後発品への患者の意識調査」

<地方学会>

東海学術大会 12月 6演題

「夜間電話相談2年目のまとめ」(静岡市薬地域医療委員会として)

「在宅療養管理指導の実際」(静岡県薬介護委員会として)

「高齢者の腎機能調査」

「高齢者の腎機能低下患者の処方解析」

「処方箋様式変更に伴う後発品への患者の意識調査」

「降圧薬使用実態と処方医の選択基準についての一考察」

・2005年度

<全国学会>

日本薬剤師会学術大会 10月

「4薬局における降圧薬使用調査のまとめ」

日本薬学会 4月

「投与初期に行うべき検査の実施率調査」

全日本民医連学術運動交流集会 9月 2演題

「保険薬局における患者負担軽減の取り組み」

「保険薬局における短期保険証患者の実態調査」

<地方学会>

東海学術大会 11月 3演題

「投与初期に行うべき検査の実施率調査」

「保険薬局における患者負担軽減の取り組みパート1」

「薬局における降圧薬使用調査のまとめ」

・2004年度

<全国学会>

社会薬学会 9月

「保険薬局における薬害肝炎掘り起こしの取り組み」

日本薬剤師会学術大会 10月

「保険薬局における時間外対応事例のまとめ」

日本薬学会 3月

「保険薬局における患者負担軽減の取り組み」

<地方学会>

東海薬剤師会学術大会 12月 4保険薬局全てで発表

上記以外、「2003年度静岡民医連副作用事例のまとめ」

「2003年度薬局調剤過誤インシデントのまとめ」

以上